

【事業実績】写真やグラフ、報道された記事の引用、参加者の声の紹介など事業実施の具体像とその効果が分かりやすく伝わるよう構成してください。なお、参加者の反応や具体的な感想は必ず記載するようにしてください。また、本事業で作成した HP がありましたら URL も記載ください。

各事業の詳細な報告書はホームページ上で公開している。<https://taikan.tokyo/>

●サマースクール（参加者 46 名/2 日間）

☆講演「横山大観の建築と照明」講師：東洋大学建築学科教授 松野浩一

☆レクチャー「工具・制作手順」指導：東洋大学建築学科非常勤講師 茂呂大輔

☆製作「大観の灯り」指導：東洋大松野研究室

地域の子供たちに、普段は接することの少ない近代日本文化の「灯」の形に触れる機会を提供し、レクチャーで知識を伝えるだけでなく、実際に手を動かして制作するものづくり体験を重視し、6 歳から 12 歳と異なる年齢層に応じてスタッフが適切にサポートを行うという成果をあげた。





(アンケート結果/抜粋)

☆学生のみならず素晴らしい。松野先生の最初の導入部分の説明がとてもよかった。いくみさんも教えるのがとても上手だった。共に学ぶという意味で、親も子も学生もこういう機会があることに感謝しないといけないと思った。ありがとうございました。(9-11 歳引率)

☆木をはったりかみをはったりするところがとても楽しかった。(9-11 歳)

☆小 1 なので少し難しいかと思ったのですが、スタッフさんが優しく教えてくださり嬉しそうでした。下の子も気にかけてくださり、本当にありがとうございました。(6 歳保護者)

☆木材を組み立てて形になっていくところが面白かった (9-11 歳)

☆とてもいい機会になりました。ありがとうございました。(6-8 歳保護者)

☆今回はありがとうございました。材料も非常に良い物でびっくりしました。子供がこんな風に一所懸命に取り組むのかと感動しました。正解でなく自分で考えることが良いと思います。スタッフの方々の準備も大変だったと思います。日本の伝統を聞くだけでなく、体験することのすばらしさを実感しました。「もの」だけでなく「こと」にこれからも取り組んでください。スタッフの方々お疲れ様でした。(6-8 歳保護者)

☆集中して取り組む事ができて良かったです。工作のほうもとても楽しかったです。(12 歳～)

☆細かな作業で最初はできるかなと思いましたが、ゆっくり丁寧に教えてくださって無事に作れました。教えてくださった先生がとても分かりやすく子供も作りやすかったと思います。とても楽しかったです。機会があればまた参加したいです。ありがとうございました。(9-11 歳保護者)

☆記念館に行きたいです。

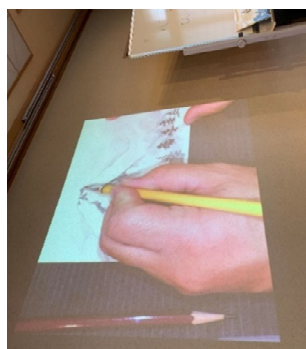
欲しアンケートでも参加者の満足度は高く、近代日本文化の持つ魅力を十分に伝えることができた。

●ワークショップ「不二を描く」参加者 32 名 (抽選応募者 48 名)

☆講師 清水由朗 (日本美術院同人、富士美術館副館長、創価大学教授)

永吉秀司 (日本美術院院友、新潟大学准教授)

横山大観の不二観や水墨画表現や技法についてのレクチャーと水墨画体験を行うプログラムであり、横山大観の描いた水墨画の不二を通して水墨画表現の基本的な技法や日本の伝統文化や水墨画の画材に関する理解を促すことを目的としている。30～70 代以上まで幅広い年齢層の参加者があった。アンケートで参加者 29 人中回答のあった 26 人全員が「良かった」と回答し満足度が高かった。





(アンケート結果/抜粋)

☆2枚描く時間があつた分楽しめました。(40代)

☆一人一人の絵を講評してくださるのが楽しかったです。(40代)

☆自分も含めて、様々な富士山を描かれているのが見られて楽しかったです。有難うございました。又挑戦したいです。(50代)

☆墨で描く面白さを知れました。(50代)

☆すごく楽しかったです。先生の講座もわかりやすく、参考になりました。(50代)

☆水墨画というものに興味を持ったし、習得したくなった。(50代)

☆初めてでしたが、日本画に触れる機会をいただけて嬉しかったです。

先生の説明もわかりやすかったです。(50代)

☆初めて水墨画で描いて楽しかった。(50代)

☆とても日本画を身近に感じました。次回も又企画して下さい。(50代)

☆なかなか実技をする機会が無いので、初めて筆を持って楽しいのと、大観の偉大さがわかりました。

(60歳)

☆はじめての日本画、楽しかったです。(60代)

☆先生の実技が良くわかったこと。(プロジェクター?) 和紙や墨が本物だったこと。(60代)

☆先生がいろいろ細かく説明してくださり不二に対する気持ちが新たになりました。(70歳以上)

☆道具を全部用意して頂いて、先生のお話もわかりやすかった。(70歳以上)

☆永吉先生のお話が大変すばらしく、勉強させていただきました。(70 歳以上)

☆次回以降も、ワークショップの機会があれば開催お願いいたします。

大観記念館を見学してからワークショップというのも面白いと思います。(30 代)

☆解説が勉強になりました。ありがとうございました。(40 代)

☆日本画がこれほど難しいものだ初めて知りました。しかし興味が沸きました。(70 歳以上)

★講演と実技との組み合わせで実施するというのは、参加者の知的好奇心を満足させられ、日本画のすばらしさを伝えることができる形として成功した。また、横山大観記念館への興味を持っていただけたこと、ワークショップ参加前に近隣施設に立ち寄った方がいたことなど、単に日本画への理解だけでなく、近隣への集客などにも貢献できた。

●講演会 参加者計 78 名

日本画の巨匠横山大観を通じて画材と精神性という別々の視点からの 2 回の講演会を実施しました。両講演会とも内容が大変魅力的だったため、参加者の評判は大変良かった。

第一回「横山大観と近代日本画の材料」講師・荒井経（東京藝術大学教授）



（第一回アンケート結果/抜粋）

☆日本の歴史について新鮮な視点から学ぶことができた。

☆とても興味深く拝聴しました。大観先生がより身近に感じました。

☆いろいろな面白いエピソードも交えて語ってくれたので、固くならずにきけました。

☆大観だけでなく、春草や観山の話もあり楽しかった。

☆横山大観、日本画家の流れ、及び日本画材料の話など、興味深く聞けまして感謝いたします。

☆外国人でもわかりやすい。

☆日本画、西洋画を沢山見るようになり、今日のお話でより深い知識を持って見られるようになりました。楽しい一時でした。

☆大観の歩んできたものや、使われた材料、その時代にあった背景などわかりやすかったです。

☆大観の人物像、歴史、画材等が良くわかり、時間を忘れて聞かせていただきました。

☆細やかな説明が興味深かった。又聞いてほしい。

☆美術についての知識は無かったのですが、とても関心深く楽しめる講演でした。(50 代)

☆講演後の記念館立ち寄りが楽しみになりました。今日はありがとうございました。(60 代)

☆知る人の心でその思いをつかむことができるという、とてもこれから絵を観ることが楽しみになってきました。(50 代)

第二回「横山大観と不二～無窮を追う」講師・横山浩一（横山大観ひ孫）



第二回アンケート結果/抜粋)

☆まさにゆかりの場合で貴重なお話が聞けて、楽しい時間でした。あちこちにある大観の不二の絵を観るのが、また楽しみになりました。ありがとうございました。(50代)

☆私たち素人にもわかりやすく、楽しく説明いただきました。配布物も嬉しかったです。ありがとうございました。(50代)

☆絵の鑑賞の仕方を伺った。(70歳以上)

☆1:5 時間に渡り、横山大観先生の生い立ち～人物・画図の経緯を簡潔に要領よく話されよく理解できました。先生の人脈の広さ・奥行きの高さも改めて知りました。富士山と大観のつながり、山登りが好きなのに登ってはいないことが驚きでした。(60代)

☆伊豆に住んでいるので、毎日富士山を見ているので大観の不二がその時の大観の感じる「心もち」によって書かれていることを知りました。昨年の大観展・日本美術院のお話そして講演会と最近は大観のことを知る機会が多い一年でした。(70歳以上)

☆エピソードのお話がたくさんあって、大観の人柄を身近に感じることができました。横山大観記念館に行ってみたいと思います。(60代)

☆時代背景とともに興味深いお話がきけました。(60代)

☆とても詳しい内容で、大観先生の偉大さを再確認致しました。富士をテーマとしてとても良かったです。(40代)

☆時代背景を交えながら、順を追って詳細に説明されてよく理解できました。(50代)

☆現在霊峰富士等美しい感動を覚える作品が描かれた時の話。「朦朧体」認められず苦しかった頃の話、すべて本当に興味深かったです。(50代)

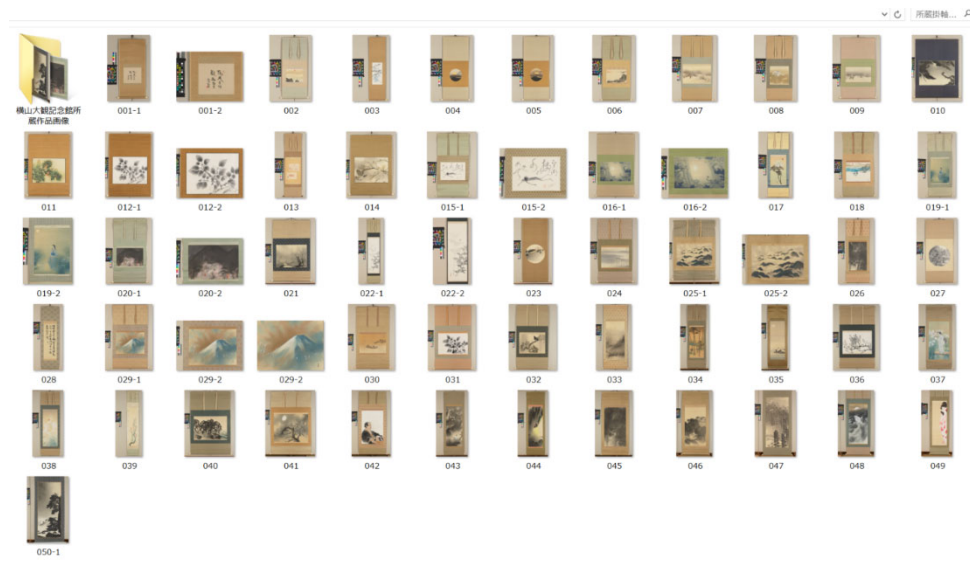
☆の前の不忍池、ロケーションも素敵で癒されました。(60代)

☆今後も是非幾度もこのような学びも場合をご提供ください。

★講演会参加者が近隣の施設も合わせて訪問しているというアンケート結果からも、池之端地域から近代日本文化と地域の魅力を積極的に国内外へ発信することと地域への貢献という、講演会開催の目的も達成され、効果があった。

●デジタルアーカイヴ

大観他近代日本の画家の作品を50作品デジタル撮影保存し、活用できるようにした。横山大観記念館が発行し無料配布する冊子や案内、展示キャプション等に利用。また、学術利用等にも提供した。劣化する日本画作品のアーカイヴとして効果があると同時に今後の近代日本文化の情報発信ツールとして有効である。今後もより多くの作品をデジタル化することが望まれる。



★掲載写真の無断複写、転載利用などを禁止します。©2019CKK